

補聴器の購入は慎重に 補聴器の購入を巡るトラブルが多発しています！

〔事例1〕 補聴器の店で、耳かけ型の補聴器を借りて試用した。後日、再度店舗に行くと、突然耳穴型の補聴器を勧められ、約50万円で購入した。しかし、食事の際、食べ物を噛む音が我慢できないほどうるさいので、補聴器を交換したい。

〔事例2〕 眼鏡店で受けた聴力測定結果から「早めに補聴器をつけないと認知症になりやすい」といわれ、約40万円で購入した。後日、専門医に測定してもらおうと、補聴器は必要ないといわれた。



ひとこと助言

- ① 補聴器を購入する前に、自分の「聞こえ方」の状態や補聴器の必要性の有無などを専門医に相談しましょう。
- ② 補聴器は、聞こえ方の調整や定期的な清掃などのアフターケアが重要です。専門性があり、メンテナンス体制の整った販売店で購入するようにしましょう。
- ③ 「聞こえ方」が十分でない高齢者は、販売員とのコミュニケーションが難しい場合があります。購入する時は、家族など周りの人にサポートを求めましょう。
- ④ 通信販売を利用する際は、購入後のお試し期間の有無、返品条件などを確認し、慎重に判断しましょう。

「コロナ禍」の葬儀 感染症対策で葬儀の費用が高額になることも！

〔事例1〕 父が亡くなり葬儀を行う予定だが、出席者は家族のみで7人しかいないのに、葬儀社から新型コロナウイルス感染症対策のため3密を避けて大ホールで行うといわれた。小ホールと比べると何十万円も費用に差がある。

〔事例2〕 夫の葬儀をした際、通常の葬儀費用に加え、新型コロナウイルス感染症対策を行ったとして衛生管理費を請求された。支払ったが、このような請求は認められるのか。

ひとこと助言

- ① 葬儀では費用に関するトラブルが多くみられます。コロナ禍の感染症対策で、通常ではかからない費用がさらに追加されるなどのケースがあります。
- ② 葬儀社との打合わせは喪主だけでなく、親族などと複数人で行い、申し込む前に見積書で納得できる内容や費用であるかを、よく確認しましょう。



相談先・問合せ 城里町消費生活センター（城里町役場本庁舎 2階 まちづくり戦略課内）
☎029-288-3111（内線226） 相談日時：月・水・金曜日 午前9時～午後4時